

# 国際医療福祉大学大学院

## 保健・医療・福祉専門職のキャリアアップを支援

### 「働きながら大学院で学びたい」社会人が学びやすい3つの特長

#### 1 キャンパス

「働きながら大学院で学びたい」。こうした医療・福祉専門職の方々のニーズに応えるため、本大学院は、大田原（栃木県）、成田（千葉県）、赤坂（東京都）、小田原（神奈川県）、熱海（静岡県）、福岡・大川（福岡県）に7つのキャンパスを開設しています。

※分野により受講が限られるキャンパスがあります。

#### 2 カリキュラム

多くの授業を平日の夕方以降と土曜日の昼間に行い、社会人が学びやすい環境を整備しています。

※専攻、分野により異なります。



#### 3 同時双方向遠隔授業

キャンパスを同時双方向遠隔授業システムで結び、複数のキャンパスで授業をリアルタイムで受講できるようにしています。このシステムはテレビ会議方式を授業に取り入れたもので、テレビカメラによる映像や音声、書画カメラの映像、パソコンのファイル情報などが、各キャンパスでリアルタイムに共有できます。これにより、どのキャンパスでも授業が行われている教室と同じ状態で授業を受けることができ、質問やディスカッションなど同時双方向のコミュニケーションも可能です。

#### 大学院 医療福祉学研究科

##### 修士課程

- |   |  |
|---|--|
| <b>保健医療学専攻</b><br>●看護学分野<br>●特定行為看護師養成分野<br>(旧：ナースプラクティショナー養成分野)<br>●助産学分野<br>●理学療法学分野<br>●作業療法学分野<br>●言語聴覚分野<br>●視機能療法学分野<br>●福祉支援工学分野<br>●リハビリテーション学分野<br>●放射線・情報科学分野<br>●生殖補助医療胚培養分野 | ●医療福祉教育・管理分野<br>●臨床検査学分野<br>●遺伝カウンセリング分野<br>●災害医療分野<br><b>医療福祉経営専攻</b><br>●医療経営管理分野<br>●診療情報アナリスト養成分野<br>●医療福祉国際協力学分野<br>●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野<br>●医療福祉学分野<br>●医療福祉ジャーナリズム分野<br>●医療通訳・国際医療マネジメント分野<br><b>臨床心理学専攻</b> |
|---|--|

##### 博士課程

- |   |  |
|---|--|
| <b>保健医療学専攻</b><br>●看護学分野<br>●助産学分野<br>●理学療法学分野<br>●作業療法学分野<br>●言語聴覚分野<br>●視機能療法学分野<br>●福祉支援工学分野<br>●リハビリテーション学分野<br>●放射線・情報科学分野<br>●生殖補助医療胚培養分野<br>●臨床検査学分野<br>●医療福祉経営学分野 | ●診療情報管理・分析学分野<br>●医療福祉国際協力学分野<br>●助産学分野<br>●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野<br>●医療福祉学分野<br>●医療福祉ジャーナリズム分野<br>●臨床心理学分野 |
|---|--|

#### 大学院 薬学研究科

##### 博士課程（4年制）

医療・生命薬学専攻

#### 大学院 薬科学研究科

##### 修士課程（2年制）

生命薬科学専攻 ●生命薬学分野 ●医療薬学分野

#### 大学院 医学研究科

##### 博士課程

医学専攻 ●基礎医学研究分野 ●社会医学研究分野  
●臨床医学研究分野

##### 修士課程

公衆衛生学専攻 ●国際医療学分野 ●医療福祉管理学分野  
●疫学・社会医学分野

### 大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス入試事務局 Tel: 03-5574-3903 〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26

※修士課程は、専門学校等を卒業した満22歳以上の方も出願可能です（国家資格保持等の条件を満たしている必要があります）。

### 学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

TEL 03-5574-3903 E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp WEB https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/

#### 国際医療福祉大学

- 東京赤坂キャンパス 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部（心理学科、医療マネジメント学科）
- 大田原キャンパス 薬学部（薬学科・6年制）  
医療福祉学部（医療福祉・マネジメント学科）  
保健医療学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科）
- 成田キャンパス 医学部（医学科）  
成田看護学部（看護学科）  
成田保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科）
- 小田原キャンパス 小田原保健医療学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
- 福岡キャンパス 福岡看護学部（看護学科）
- 大川キャンパス 福岡保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科）

#### 国際医療福祉大学 附属病院

- 国際医療福祉大学病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学三田病院（東京都）
- 国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）
- 国際医療福祉大学市川病院（千葉県）
- 国際医療福祉大学成田病院（千葉県）※2020年開設予定

# 国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

## 大学院生募集

### 2019 GUIDEBOOK

# 理学療法学分野

## 医療福祉学研究科

■修士課程 保健医療学専攻

■博士課程 保健医療学専攻

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください。

TEL 03-5574-3903

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

HP https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

# 国際医療福祉大学

## 分野責任者ごあいさつ



理学療法学分野責任者  
丸山 仁司

理学療法を科学として確立するためには研究活動が必要です。臨床において、自らの知識と技術を駆使して適切な理学療法治療を行うためには個人としての研鑽が重要ですが、治療技術の開発には、より新しい発想、アイデアが必須となります。

本分野の修士課程では、臨床の中で疑問に思ったことを解明するための科学的思考の基礎を身につけ、実際の研究を通して応用することを目的としています。特に受け身で学ぶのではなく、教員・学生の隔たりなく討論を行う中で、独善に陥らないバランス感覚のとれた論理性、幅広く異なるものを取り入れる吸収力を養い、将来的に実学の研究者として学問体系化をなす理学療法士になることを目指しています。博士課程では、修士課程で身につけた科学的思考を用い、より新奇性の高い研究を通してひとつのテーマを様々な側面から深く掘り進めていきます。

また学内での教員・学生間の討論にとどまらず、広く学外の研究発表等を通して、様々な分野で自らの主張を論理的に展開し、理解を求めることができる能力を養成し、将来的には学問体系化をなす主体でありながら、後進の指導にもあたる活動的な理学療法士になることを目指しています。

【経歴】

国際医療福祉大学大学院 副大学院長。理学療法士資格取得後、東京理科大学大学院工学研究科修了。工学修士、医学博士。1995年の開学時に初代理学療法学科長として着任以降、本学の教育に貢献。専門はリハビリテーションに基礎を置いた運動生理学、運動学。第10回アジア理学療法学会会長、日本理学療法士協会副会長などを歴任。現在、理学療法科学学会会長を務め、老人の医療、福祉、研究教育の分野にて活躍。

## 分野の特長

### 基礎理学療法学領域

運動学は理学療法の基礎的学問として位置づけられている。基礎理学療法学領域では、この運動学を中心として人間の行動の一側面である運動（Movement）、動作（Action）のメカニズム解明を目的としている。解剖学・生理学・心理学・バイオメカニクスなどの周辺学際領域とのつながりを持ち、そこから理学療法学分野固有の問題を解決するための応用技術を学ぶ。最終的には、自らのテーマに関して正しい研究デザインを組むことが出来るようにし、学会発表などを通しひとつの論文の形にしていく。

### 応用理学療法学領域

理学療法を中心は、臨床場面における評価・治療である。応用理学療法学領域ではこうした治療技術を実際に学ぶ中から、臨床的な問題を解決する糸口を知ると同時に、疾病・疾患から生じる運動障害などを科学的に探ることを目的としている。テーマは病態運動学的なものから地域での理学療法、理学療法教育まで多岐にわたるが、より応用的な分野をカバーする。最終的には、こうしたテーマにそって実験・調査を行い、学会発表などを通しひとつの論文の形にしていく。



教育分野・国際分野・地域分野の研究を考えていらっしゃる方、大歓迎です。

## 理学療法学分野（修士課程・博士課程）コア科目

### 基礎理学療法学領域科目

< 修士課程 >

基礎理学療法学講義ⅠⅡ  
基礎理学療法学演習ⅠⅡ  
基礎理学療法学研究指導ⅠⅡⅢⅣ

< 博士課程 >

基礎理学療法学講義・演習  
基礎理学療法学研究指導ⅠⅡⅢ

### 応用理学療法学領域科目

< 修士課程 >

応用理学療法学講義ⅠⅡ  
応用理学療法学演習ⅠⅡ  
応用理学療法学研究指導ⅠⅡⅢⅣ

< 博士課程 >

応用理学療法学講義・演習  
応用理学療法学研究指導ⅠⅡⅢ

### VOD 科目

呼吸理学療法概論 心臓理学療法概論 高次機能障害の理学療法  
PT・OTのための画像診断 リハビリにおけるリスクとその対策  
呼吸リハビリテーションの有用性・汎用性 リハビリテーション評価指標

## 各キャンパスの責任者



東京都  
東京赤坂キャンパス  
丸山 仁司 教授



栃木県  
大田原キャンパス  
久保 晃 教授



神奈川県  
小田原キャンパス  
黒澤 和生 教授



福岡県  
福岡キャンパス  
森田 正治 教授



千葉県  
成田キャンパス  
西田 裕介 教授

東京・栃木・神奈川・千葉・福岡・静岡を遠隔で繋いだ学修展開が魅力！

## 先輩からのメッセージ



博士課程修了生  
東京慈恵会医科大学附属柏病院  
樋口 謙次 さん

本学大学院に進学した理由は、何より自分が決めた研究計画を行え、自由度が高いことでした。私は、病院の臨床データをまとめ、大学院の授業では、指導教員だけでなく、他の教員や大学院生からも研究に対するコメントをもらい、常に刺激のある状況で研究をすすめられ、充実していました。



修士課程修了生  
了徳寺大学  
清水 菜穂 さん

臨床の中で生まれた疑問を追及していきたいと思ったことが大学院進学のかっけでした。働きながら学べるのがこの大学院の大きな魅力です。指導教員の先生や院生同士の関わりから理学療法士としての幅が広がったと感じています。

教育内容のご相談： 丸山 仁司 教授 (hmaru@iuhw.ac.jp)

入試に関するご相談： 東京赤坂キャンパス入試事務室

TEL: 03-5574-3903 Mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp